

伝統的居住文化再生・利活用ワークショップ  
北タイを襲った壊滅的洪水からの復興

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年03月19日 ～2025年03月26日	タイ	メージョー大学 チェンマイ大学 東京都市大学	建築学科、 建築学専攻、 地域環境システム専攻  学部1～4年生、 修士1～2年生、 博士1～3年生	(芝浦工業大学) 学生14名、 学生バイト1名、 教員1名  (メージョー大学) 学生13名、教員1名  (チェンマイ大学) 学生8名、教員1名  (東京都市大) 学生1名	清水 都郎 (建築学科)



昨年9月から10月に発生した洪水は、チェンマイ各地に大きな被害をもたらした。チェンマイから南に約40キロ離れた農村に、地元住民や現地大学と協働して民家を改修したミュージアムも同様に被災した。このワークショップでは、民家修復、具体的には外壁塗装、屋根材とレンガ瓦の修理、床板の補修に加え、水没した展示品の再生を村に滞在しながら実施し、また、村からの依頼で観光用の多目的パビリオンの建設も実施した。後半では、チェンマイで古くから賑わうチャンモイエリアで、洪水に被災したコミュニティの自立のためのマーケットの計画を行った。日タイの混成チームに分かれ、エリアの分析や住民インタビューを行い、短い時間ながら質の高い図面やプレゼンボードを作成した。最終成果発表会を、チェンマイ大学建築学部で実施し、大学のスタッフも参加するなかで、活発なディスカッションを行った。

